

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ヨシア（トゥモロー）		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性や特徴を職員が理解し、適切な関わりを心がけています。クラス会議やSV、そのほか日々の職員間で子どもの様子を共有しています。	重度の子が多いクラスであるため、特に衝動性やパニック、こだわり、排泄の仕方や食事の方法など細かくクラスの職員内で共有しながら支援をしています。特に、租借が難しい子には職員が一对一で安全を守りながら食事の介助を行っています。	今後も、子ども達の情報の共有を適切に行っていき、子どもの理解に努めていきます。 家庭内で状況や学校での状況の聞き取りを行い、同じ方向を向いて支援していけることを目指していきます。
2	職員が、より良く子どもたちと関わって支援し、専門性を高めることができるように、職員の年代や職種に合わせた専門研修があります。	特に虐待防止に関しては週に1度アンガーマネジメントの研修や年代別の研修、外部講師による研修等に積極的に参加しています。	今後も研修の学びを重要な事として参加できる体制作りに努めていきます。
3	家族支援を重要な支援として法人全体で取り組んでいます。毎月の事業所内相談支援での面談に加え、個別カウンセリング、グループカウンセリング、自助会、親子発達等家族の困り感に寄り添って支援を行っています。	家庭との連携は事業所内面談、グルカン、CSP、送迎時に話す、電話連絡、緊急携帯などで連携を図っています。	これからも保護者に寄り添って困り感には適切な関わりを持つようにチームで関わっていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の子もたちとの交流が少ない。地域の公園や公共の場で地域の子との交流する機会はあるが、事業所に招いたり、地域の行事に事業所として参加する等は行っていません。	新型コロナウイルス感染症の流行があったから、地域の人たちを招くような活動や行事を積極的に行うことができていません。	今後も地域で出会う人には積極的に挨拶して交流しやすい関係作りに努力して行きます。また、雪かきや清掃などを通して、地域の方との交流をしていきます。
2			
3			